

平成27年度

事業報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

公益財団法人 日本サイクリング協会

実施事業の状況

手軽に取り組める有酸素運動として、近年自転車を生活の中心として取り入れる人が増えている。また、全国各地において自転車に優しい街づくりや自転車を取り入れた観光等、自転車を取り巻く道路環境は急速に改善されつつある。

本会はこのような状況を背景に、全国の都道府県サイクリング協会（地方協会）の協力のもと『快適なサイクリングを通じて、健康を増進し、自転車に関連する交通事故を未然に防止するためのルール・マナーの遵守、正しい乗車姿勢と適切な整備を身につけること』を「楽しいサイクリング・正しいサイクリング」と表現し、このコンセプトを基調に自転車愛好者とともに積極的な活動を継続して展開してきた。

また、本会が目指すサイクリングの健全な普及発達を促進するため、各関係機関のご協力の下、(公財) JKAからの補助金及び、(一社) 自転車協会からの助成金を得て事業を実施した。

なお、財団運営の基本事項を審議するため、理事会を4回及び評議員会を2回開催した。

◎公益事業振興補助事業（競輪補助事業）

事業名「自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な社会作りを推進する事業」

1. 指導者の育成等事業

自転車の乗用方法が社会問題となっている現在、「正しいサイクリング」の普及発達を図るとともに、正しい知識と最新の技術を身につけたサイクリング指導者を育成するため、その基礎となるサイクリング・リーダー養成講習会を都道府県サイクリング協会の協力のもとに、5協会、5会場で開催した。

本事業では、71名のサイクリング・リーダーを養成するとともに、本会直轄方式によるサイクリング・インストラクター検定を行い、受験者40名のうち、35名が合格した。

（講習会、検定試験の内容は別表1のとおり）

2. サイクリング大会の開催事業

(1) 全国サイクリング大会の開催

安全・安心なサイクリングイベントを全国規模で提供することによりサイクリング愛好家の拡大を図るため、サイクリング公認指導者を擁する青森県サイクリング協会を主管者に指定し、大会の愛称、募集方法、運営方法等、本会の指導の下、平成27年8月29日～30日に七戸青森から奥入瀬溪谷を經由し十和田湖畔までを「あおもりグリーンライドサイクリングフェスタ」として開

催し、全国各地から参加してきた参加者数420名のサイクリストにより県外交流が図れ、安全・安心な大規模サイクリング大会を提供することができた。

(2) ブロックサイクリング大会の開催

各地区のサイクリング公認指導者を擁する地方協会を主管者として指定し、大会の愛称、募集方法、運営方法等、本会の指導の下、北海道、中国・四国、九州の各3ブロックにおいて安全・安心なサイクリング大会を提供することができた。

なお、当初、競輪補助事業として計画していた関東甲信越、中部日本、近畿の各ブロックサイクリング大会は、諸般の事情により各ブロック協議会等の自主事業として開催された。

(3) 県サイクリング大会の開催

各都道府県の主に当該地域のサイクリング愛好者を対象とし、申請のあった各都道府県サイクリング協会を主管者に指定し、適宜打合せを行ってセンチュリーランや、MTB大会等の地域の特性を活かしたサイクリング大会を11地区で開催した。

(※2～4の各大会の状況は別表2のとおり)

3. 特別普及奨励事業

(1) 蔵王ヒルクライム大会の開催

増加する東北地区を中心とした自転車愛好者の様々なニーズに応じるとともに地域振興策としてのサイクリングイベントの模範、基盤となる大会を平成27年5月に計画したが、蔵王の地震活動活発化の影響により止む無く開催を中止した。

(2) Mt. FUJIエコサイクリング大会の開催

平成27年9月5日(土)に1,098名の受付の後にエコプログラムを行い、翌6日(日)に富士山麓を走るサイクリング大会を行って、環境負荷の殆ど無い自転車に乗車することにより、自然保護の意識を高めるとともに、広域に亘る地域活性化を促進することができた。

(3) 耐久サイクリング大会の開催

1チーム3～5名で周回数チェック用の発信機をバトン代わりに走る耐久サイクリング大会を「2015全日本9時間耐久サイクリング in つくば」として平成27年8月8日に茨城県下妻市の筑波サーキットにおいて、307チーム、1,128名を集めて開催し、自分の力がスピードに変わる自転車の爽快感を他の交通に阻害されることなく体験でき、且つ、仲間と協働して成し遂げる達成感を味わえる場として、更には手軽に自転車競技の楽しさを広く知らしめる場を提供できた。

(※6～7の事業の状況は別表3のとおり)

4. 神宮外苑サイクリングコース運営事業

都心の中心地である神宮外苑の周回コースを毎日曜・祝祭日に自動車の交通規制を実施（年間55回）して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を中心に、無料の乗り方教室を開催することにより、サイクリングの普及啓発に寄与することができた。

また、地元商店会連合会や自転車関係団体と連携した自転車催事の実施を通して自転車に関する情報発信ができた。

（月別の開場回数、利用者数等は別表4のとおり）

5. 自転車に関する広報事業

サイクリング情報季刊誌「CYCLING Japan」を年4回発行し、本誌が広く一般に購読されるよう、日本サイクルスポーツセンター、自然公園財団に属する公園等の集客施設、サイクリングターミナル、ユースホテル、休暇村等の宿泊施設及び本会賛助会員に送付した他、本会主催のサイクリング大会において配布を行った。

併せて、インターネットによる広報活動を行い、本会の事業の普及を図るとともに、賛助会員の拡大に努めた。

（サイクリングジャパン各号の発行状況は別表5のとおり）

◎自主推進事業

1. ブロック別会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と次年度の事業計画の審議、事業運営の改善のための意見交換、各種情報交換等を行うため、概ね平成28年2月中にブロック別に会議を開催した。

（ブロック別会議の開催状況は別表6のとおり）

2. 無料法律相談の開設

本協会の顧問弁護士に依頼して、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

3. 指導者登録証作成交付事業

本会が認定したサイクリング・リーダーの新規登録者及びサイクリング・インストラクターの登録更新者並びにサイクリングディレクター（1級・2級）の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

安心して参加できる安全なサイクリングツアーの規範を構築するため、本会公認サイクリングガイド制度実施に向けての各種実務の準備を行った他、高所得者層向けのツアーの運営に向けた基盤整備を行った。

また、ツアー商品化の提供情報として「サイクリングコース100選」4コースを本会ホームページに掲載しているが、コースの充実化を図るため、国交省に協力依頼し、47都道府県に対し、各運輸局経由で推奨サイクリングコースの提出を依頼した。

5. サイクリング普及推進事業

地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、地方協会が中心となって実施する計画事案に積極的に助言、指導、助成を行った他、乗鞍・美ヶ原大会の参加者募集及び設営、受付等の開催業務支援に加えて、平成27年度は長野県佐久市の依頼により同市内で開催するヒルクライム大会も同様に支援した。

また、東京都三宅島村からサイクリング催事開催の相談を受け、開催に向けて企画、実行組織、運営等に関する支援を行った。

6. 交通安全推進事業

地方協会が開催する「自転車安全教室」に対し資料提供等の協力を行い、本会が主催、関連する大会及び神宮外苑サイクリングコースにおいて、自転車安全乗用プログラムを展開する他、全日本交通安全協会の「自転車安全教育推進委員会」及び、国交省・警察庁の「安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会」に委員として参加するとともに、交通安全教育実施機関からの要請に応じ、協力を行った。

また、競輪場の施設及び人材を利用したスポーツバイクの安全走行講習事業を実施した。

7. 賛助会員拡大推進事業

現在稼働中の賛助会員管理システムの基盤設備をより強化することにより機能を有効に活用し、賛助会員の個人や法人単位以外に新たに団体等の賛助会員の入会対象を広げ、更なる賛助会員の拡大に努めた。

8. 自転車に関する調査研究事業

サイクリング環境の改善を目的として、当該年度は国交省が提言する「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に関する調査研究を行う計画であったが、同ガイドラインの完成が年度末になったことから、同ガイドラインに関する情報収集に努めた。

9. BIKE TOKYO開催事業

安全・安心な自転車乗用環境の向上を目指すため、数万人規模のサイクリングイベントを目指し、平成27年9月20日（日）に全面交通規制の実現に向けてお台場防災公園をメイン会場に、都内各所の名所を巡る約46kmのコースでBIKE TOKYOライド大会を開催し、参加者1,590名がシティサイクリングを楽しんだ。

併せて東京五輪に向けての交通インフラ整備を目指したBIKE TOKYOサミットを9月19日（土）に読売ホールで開催するとともに、自転車関連産業の育成を目指したBIKE TOKYOフォーラムを9月18日（金）～19日（土）に東京国際フォーラム屋外構内で開催した。

10. サイクリングガイド検定制度の制定事業

「サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業」のうちサイクリングガイドに関しては、本会に対し早急にサイクリングガイド事業を実施するよう内外から要請があり、高度な能力を有するサイクリングガイドを養成・認定するため、標準化された教習システムの提供と、検定試験の実施を確立するため本会内に設置した「公認サイクリングガイド認定制度制定委員会」により、試験的に愛媛県今治市、富山県富山市、沖縄県那覇市において講習会、検定試験を行った。

◎その他事業

1. 自転車ADRセンター協力事業

自転車に関わる交通事故の当事者同士を調停し、和解させる機関である通称「自転車ADRセンター」へ、事業の根幹であるADR相談の窓口となる利用相談員／事件管理者として職員1名を派遣するとともに、本会役員がADRセンター一員となり当該事業の運営を担った。

2. サイクリングターミナル事務局運営事業

全国16箇所に設置された「サイクリングターミナル」との連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本協会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルの共通する諸問題及び更なる利用促進を図るため、平成27年7月3日（金）に東京において総会を開催し、今後におけるサイクリングターミナルの諸事業を協議するとともに情報交換を行った。

3. サイクリングイベント関係事業

(1) 受託事業

ア 港区民健康サイクリング

港区スポーツふれあい文化健康財団が港区民30名を対象とし、平成27年10月18日（日）の午前中に行う「安全・快適・地域密着サイクリング

教室」のコース設定及び安全確認、参加者誘導、進行管理を受託し、発注者の希望により、新しく整備された都道405号線（新虎通り）の自転車専用道の通行とシェアバイクステーション、愛宕神社、増上寺の見学、東京タワー直下、東京ミッドタウン内通過を行うなど港区民へ手軽な都内サイクリング体験を提供した。

イ 東京都地域資源発掘型実証プログラム事業

東京都が2020年東京五輪に向けて、外国人旅行者に向けた魅力的な観光資源の開発などの企画を募集し、1日で船と自転車を組み合わせた実証実験「東京クルーザイクル事業」のモニターツアー企画案が採択された。TPS太陽から、予め設定されたサイクリングコースの休憩場所、所要時間に関する助言と修正、及び使用自転車の安全面、使い勝手に関する確認と助言、並びにツアー参加者の誘導について受託し、平成27年10月28日、11月7日、11月14日、11月23日の4回、13名～20名の都内在住外人参加者をサイクリング誘導し、実証実験を支援した。

(2) 協力等事業

- ・ファイブ ボロー バイク ツアー (BIKE NEWYORK) (姉妹大会提携)
- ・ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会 (実行委員会運営)
- ・全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍 (実行委員会運営)
- ・ヒルクライム佐久 (実行委員会運営)
- ・矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック (運営協力)
- ・台湾キングオブマウンテンヒルクライム大会 (提 携)
- ・来島海峡大橋サイクリング大会 (後援・協力)
- ・ホノルルセンチュリーライド (後援・協力)
- ・インターナショナルオホーツクサイクリング (後援・協力)
- ・ツール・ド・草津 (後援・協力)
- ・時空の路ヒルクライム in 会津 (後援・協力)

(実行委員会運営の美ヶ原、乗鞍、佐久の各大会の事業は別表7のとおり)

(3) JCA全日本ヒルクライムシリーズ運営事業

全国のヒルクライム愛好家のニーズに応じるため、「日本の蔵王ヒルクライム・エコ大会」、「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」、「矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック大会」の4大会のうち3大会に参加し、チャンピオンとなった男女各1名を、台湾で開催される難易度世界一の「台湾キングオブマウンテンヒルクライム大会」に派遣する事業を「JCA全日本ヒルクライムシリーズ」として運営した。

(4) 後援名義許諾事業

サイクリング大会の普及振興を図るため、全国各地で開催されているサイクリング大会の実行委員会等から、本会の後援名義使用の依頼に対し大会内容を審査検討し、後援名義使用を許諾した。

4. 情報収集事業

「観光とサイクリング」に関する動向情報収集のため、「観光立国推進協議会」の委員となったほか、「サイクリングしまなみ」実行委員会の委員、「さいたまクリテリウムツール・ド・フランス」実行委員会の委員、及び（一社）日本スポーツツーリズム推進機構の会員となり、観光とサイクリングに関する動向情報の収集を行った。

5. 協力要請事業

(1) 新朝鮮通信使サイクリングツアー

平成27年7月下旬に韓国大使館から、当年が日韓国交正常化50周年に当たることを記念した事業の一環として、「両輪で走る新朝鮮通信使」と題したサイクリング事業の協力依頼があり、両国のサイクリスト合計50名により、朝鮮通信使が辿ったソウル～釜山～対馬～下関～大阪～東京（都庁）のルートで平成27年9月10日～19日が韓国内、21日～11月1日を日本国内でサイクリングする事業について、邦人参加者募集、国内のコース選定、宿泊・運送、コース誘導、下関市や各所での交流企画などについて協力した。

(2) タイ国王誕生記念サイクリング

平成27年11月初旬、タイ王国大使館から、タイ国王の誕生日を記念し、全世界のタイ王国大使館所在国の首都において、平成27年12月11日（金）の現地時間の午後3時から4時までサイクリング大会を一斉に開催する旨、タイ国で閣議決定したことから、本会に都内で開催するに当たっての協力相談があり、都内の交通規制状況などを説明した結果、タイ王国大使館側の意向で葛西臨海公園内での開催となり、業界の協力を取り付けるなどして自転車300台を貸し出した。

◎会議関係

財団運営の基本事項を策定するため、理事会、評議員会を開催した。

（各会議の開催状況は別表8のとおり）

別表 1-1 サイクリング・リーダー養成講習会開催状況表

主管協会名	開催名称	実施場所	養成数	開催日
茨城県CA	平成27年度サイクリング・リーダー養成講習会	水戸市	16	5/9-10
沖縄県CA	平成27年度サイクリング・リーダー養成講習	那覇市	16	1/9-10
北海道CA	平成27年度サイクリング・リーダー養成講習会	室蘭市	21	3/6
宮崎県CA	平成27年度サイクリング・リーダー養成講習会	宮崎市	4	3/6
熊本県CA	平成27年度サイクリング・リーダー養成講習会	熊本市	14	3/12-13
合計			71	

別表 1-2 サイクリング・インストラクター検定実施状況表
 検定対象者C更新（登録更新時期が平成28年4月1日の者）

指導者区分	対象者数	受験者	合格者
インストラクター	157	31	27
リーダー	37	9	8
	194	40	35

別表 2 サイクリング大会の開催

○全国サイクリング大会

主管協会名	大会名称	開催場所	参加数	開催日
青森県CA	あおもりグリーンライドサイクリングフェスタ	十和田湖周辺	420名	8/29-30

○ブロックサイクリング大会

主管協会名	大会名称	開催場所	参加数	開催日
北海道CA	第53回全道サイクリング札幌大会 in とうべつ	札幌市周辺	236	9/5-6
広島県CA	第40回中国・四国ブロックサイクリング大会	鞆の浦周辺	125	9/20-21
福岡県CA	第50回九州ブロックサイクリング大会 inFukuoka	福岡市周辺	190	11/14-15
合計	3大会		551名	

○県サイクリング大会

主管協会名	大会名称	開催場所	参加数	開催日
宮崎県CA	skyride 宮崎 IN にちなん	日南市周辺	75	5/10
札幌CA	2015 センチュリーラン Sapporo	札幌市	128	6/7
網走CA	2015 林-ツクセンチュリーライト 網走大会	網走市	38	6/12
網走CA	林-ツクライン・ライト 550	網走市	44	7/9-13
岡山県CA	ひるぜんサイクル2015MTB	真庭市周辺	67	7/12
和歌山県CA	おはようサイクリング大会	御坊市	320	8/16-20
三重県CA	第38回三重県サイクリング大会 in 美杉	津市	23	9/6
愛媛県CA	愛媛ライド2015	伊予市	200	9/6
京都CA	京都サイクルマラソン	京都市周辺	85	9/13
徳島県CA	第30回徳島吉野川センチュリーラン大会	徳島市周辺	191	10/11
新潟県CA	変り種自転車試乗会	新潟市	100	10/12
合計	11大会		1,271名	

別表 3 特別普及奨励事業

実施日	実施場所	参加人員
全日本9時間耐久サイクリング in つくば2015大会		
平成27年8月8日(土)	茨城県下妻市筑波サーキット「コース2000」	307チーム・1,128名
Mt. Fujiエコサイクリング2015大会		
平成27年9月5日(土)～6日(日)	山梨県富士山麓周辺	1,098名

別表 4 神宮外苑サイクリングコース運営事業

開催月/開催日数	利用者数合計	貸出車	持込車	受講者数
4月計/4日	3,314	2,406	908	440
5月計/8日	7,799	4,333	3,466	878
6月計/4日	1,560	1,168	392	240
7月計/4日	1,678	1,013	665	304
8月計/5日	1,718	812	906	243
9月計/6日	4,179	3,016	1,163	619
10月計/4日	5,296	2,884	2,412	421
11月計/5日	5,698	3,740	1,958	514
12月計/5日	2,544	1,617	927	326
1月計/4日	3,043	2,134	909	399
2月計/4日	2,915	1,972	943	405
3月計/4日	2,879	2,007	872	409
総合計/55日	42,623	27,102	15,521	5,198

※受講者数は貸出車数の内数

別表 5 サイクリングジャパン発行状況表

号名	発行日	発行部数
2015夏号/No.482	平成27年6月20日	25,000部
2015秋号/No.483	平成27年9月20日	25,000部
2015冬号/No.484	平成27年12月20日	25,000部
2016春号/No.485	平成28年3月20日	25,000部

別表 6 ブロック会議開催状況表

ブロック名	開催日	開催地
北海道	平成28年1月23日(土)～24日(日)	札幌市
中部日本	2月4日(木)	名古屋市
東北	2月7日(日)	青森市
九州	2月10日(水)	久留米市

近畿	2月13日(土)	大阪市
中国・四国	2月18日(木)	徳島市
関東甲信越	2月27日(土)	目黒区

別表 7 大会実行委員会運営事業関係表

大会名	開催日程	参加者数
ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会2015	平成27年6月27日(土)～28日(日)	1,729名
全日本マウンテンサイクリングin乗鞍2015	平成27年8月29日(土)～30日(日)	4,388名
ヒルクライム佐久2015	平成27年9月19日(土)～20日(日)	703名

別表 8 理事会、評議員会開催状況表

理事会			
開催回	日時	場所	議案
第9回	平成27年 6月 12日(金) 16時00分～ 17時00分	自転車総合ビル 7階 自協会701会 議室	第1号議案 平成26年度事業報告(案)について 第2号議案 平成26年度決算報告(案)について 第3号議案 評議員会の開催(案)について その他 (公財)JK A補助事業の実施について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
第10回	提案日 平成27年 6月 30日(火)	決議の省略	第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選任について 第2号議案 会長、副会長、専務理事の選任について
第11回	提案日 平成27年 10月 1日(木)	決議の省略	第1号議案 「公認サイクリングガイド資格認定規則」の 制定について
第12回	平成28年 3月 14日(月) 16時00分～ 17時45分	自転車総合ビル 7階 自協会701会 議室	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 サイクリングガイド事業の内閣府変更認定申 請(案)について 第3号議案 公認指導者資格認定規程の一部改正(案)に ついて 第4号議案 特定資産の取り崩し(案)について 第5号議案 平成28年度事業計画(案)について

			第6号議案 平成28年度収支予算(案)について 第7号議案 評議員会の開催(案)について その他 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
評議員会			
開催回	日 時	場 所	議 案/議 題
第5回	平成27年 6月 29日(月) 16時00分～ 17時30分	自転車総合ビル 7階 自協会701会 議室	第1号議案 平成26年度事業報告(案)について 第2号議案 平成26年度決算報告(案)について 第3号議案 次期理事・監事の選任(案)について その他
第6回	提案日 平成28年 3月 16日(水)	決議の省略	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 平成28年度事業計画(案)について 第3号議案 平成28年度収支予算(案)について